



社会福祉法人 美熊野福祉会 みくまのふくしかい

和歌山県新宮市を拠点に、重度の知的障害、自閉症の方、盲・ろう・身体などの重複障害のある方々を受け入れる施設として昭和62年設立。現在は入所・通所施設、相談支援事務所、就労支援施設、ワークランドそら及び「カフェそら」を運営しています。



子育て制度の周知を徹底し、男性育休取得がアップ 働きやすい職場で、さらなる地域貢献に寄与



理事長 森常夫さん

平成27年の組織改革により事務局を法人本部として独立させたことをきっかけに、職場環境の改革に乗り出しました。我々のような業界を希望する人たちは多くありません。働きやすい職場環境を整備することにより、離職を防ぎ、新規雇用の増加を含めた優秀な人材確保を目指しています。

そのなかで、近年増えてきた子育て世代のサポートを考えて

いました。女性に関しては昔から育休取得が恒常化しており、取得率はほぼ100%を誇ります。職場復帰後も雇用形態の変更はありますが、多くの方に就業継続していただいています。一方で男性社員の育休取得率はひと桁だったため、育休取得を推進し、奥様の出産、育児という大切な時期に、一緒に過ごしてい

ただきたかった。そこで本部の職員が男性育休制度に関するチラシを作成して全職員に周知を徹底しました。育休中は収入が完全になくなるというイメージもあったようですし、制度自体を知らない男性職員も多かった。その結果、直近3年間で男性の育休取得率は27%まで向上し、今年度中に2名が取得予定です。

令和2年11月からは、子供がいる社員に適用していた育児短時間勤務の対象を就学前までに（従来は3歳まで）拡大しました。かつて育児が大変で正社員から非常勤への変更を申し出た職員がいたこともあり、実践しました。また就学前の子供がいる希望者については、日勤のみとする制度も5年以上前から実施しています。その他、働き方改革の一環として、毎週金曜日をノー残業デーに設定、周知することにより職員の意識が変わり、結果として残業時間が3割程度減少しました。またハラスメント相談窓口を設置することにより、職場環境の改善に効果がありました。今後は女性におけるキャリア形成のサポートや職員の意識改革などにより、さらなる職場環境の改善に注力し、地域社会への貢献に尽力していきたいと思ひます。

現場の声

育休制度を利用した あかる 中村明さん(相談支援専門員)

「妻の負担を減らしてあげたくて、育休を取得しました」

育休取得は2018年4月から2カ月間、2人目の子供が産まれた時でした。1人目の出産時は取得しなかったのですが、ある時に男性職員が育休を取得したと聞いたため、次の子供が産まれることがあれば取得したいと思っていました。前回の育児では、妻が大変な思いをしたので、自分も育児を担って彼女の負担を軽減したかったのが一番の理由です。子供が産まれる前から共働きだったので家事はシェアしていましたし、2人目の子供というこ

とで、育児もできていたと思います。私の主な業務は利用者の生活支援ですが、基本的にはチームで支援しているので、個人の業務のみ同僚に引き継ぎました。育休取得については上司も前向きに捉えてくださり、周囲のサポートも得られました。もし後輩が育休について迷っていたら、給付金制度も活用できますし取得を勧めます。



解消したい課題

子育て関連の環境整備が不十分だった

- 昔は現場の職員が事務を兼ねていたため、職場における制度作りが困難だった。
- 女性の育休取得は約100%だったが、男性についてはほとんど取得されていなかった。

課題への取組

法人本部として独立した事務局が職場環境改善に注力

- 育児短時間勤務の対象を「3歳」から「就学前」までに拡大。
- 希望者には就学前までは日勤とする。
- 毎週金曜日にノー残業デーを設定。
- ハラスメント相談窓口を設置。

導入の成果

子育て世代に優しい職場と感じている社員が増加

- 育児短時間勤務の拡大により柔軟な勤務が可能となり、育児との両立ができるようになった。
- 今年度中に男性職員2名が育休を取得予定。
- 令和元年から2年において、1人あたりの月平均残業時間が3割程度減少。

男性育休制度について 導入成功のアイデア

- 男性育休制度について詳しく解説したチラシを本部で作成し、全職員に配付。給付金制度や短時間勤務などについて記載した内容で、制度自体を知らなかった男性職員にも、わかりやすく伝わった。積極的な制度活用を呼び掛けた結果、直近3年間で男性育休取得率は27%まで向上した。



課題解決までのプロセス

業種 社会福祉事業・障害者(児)支援施設運営 所在地 新宮市佐野1026-1 TEL 0735-31-3701

E-mail info@mikumano-fukushikai.or.jp

従業員 正規113名(男性65名・女性48名) / 非正規58名(男性13名・女性45名)

結婚・子育てのための取組 育休休業、男性の育児休業、育児短時間勤務の対象拡大、出産祝い金 WEB https://mikumano-fukushikai.or.jp/

